

2024年度

事業報告書

学校法人安達学園
中京高等学校

目次

I. 法人の概要

- I-1. 法人名・設置する各学校名及び所在地
- I-2. 学校法人安達学園 中京高等学校 教育理念
- I-3. 学校法人の沿革
- I-4. 設置する学校・学科等
- I-5. 当該学校・学科等の入学定員、入学者数、学生数の状況
- I-6. 役員・教職員の概要

II. 事業の概要

- II-1. 教育活動について
- II-2. クラブ活動について
- II-3. 生徒募集について
- II-4. 施設・設備について

III. 財務の概要

- III-1. 資金収支計算書
- III-2. 事業活動収支計算書
- III-3. 貸借対照表

I. 法人の概要

1-1. 法人名・設置する各学校名及び所在地

学校法人名	学校法人 安達学園
設置学校名	中京高等学校
理事長名	安達 弘城
校長名	相川 長徳
法人設立認可年月日	昭和 37 年 12 月 28 日
郵便番号	509-6101
所在地	岐阜県瑞浪市土岐町 7074-1
電話番号	0572-68-4501

I-2. 学校法人安達学園 中京高等学校 教育理念

	全日制課程	通信制課程
建学の精神	学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ	
校訓	真剣味 ・ 真善美	
基本理念	協働と貢献による自己実現の追求	多様な価値と個性の尊重
ビジョン	地域で愛される「全国区」	多様なニーズに応える柔軟な学び
ミッション	学術とスポーツを通じて「実践力」を育み、 将来地域社会や国際社会で核となる人材 の輩出	個々のスタイルに合わせた自律的な学習能力 の育成
育成する力	4つの力と11の要素 ※1	
アドミッション ポリシー	全日制課程の理念に共感し、4つの力と11 の要素の獲得を志す者に門戸を開く	通信制課程の理念に共感し、4つの力と11 の要素の獲得を志す者に門戸を開く
カリキュラム ポリシー	4つの力と11の要素を授業、行事、部活 動を通じて育成する	4つの力と11の要素をレポート、スクーリング、 試験などを通じて育成する
グラデュエーショ ンポリシー	4つの力と11の要素を獲得して、将来の夢を実現させるために、次の進路に進むことができる 者に卒業証書を授与する	

※1 4つの力と11の要素

思考力	行動力	コミュニケーション力	セルフモチベーション力
リフレクション力	挑戦力	規律性	主体性
計画性	貫徹力	傾聴力	まごころ力
想像力		表現力	
		フレンドシップ力	

I-3. 学校法人の沿革

昭和 37 年 12 月 28 日	学校法人安達学園の設立認可
昭和 38 年 4 月 1 日	中京高等学校開校
昭和 41 年 4 月 1 日	中京短期大学 家政科・保育科開学
昭和 42 年 4 月 1 日	中京幼稚園開園 中京短期大学の家政科を家政専攻と食物栄養専攻に分離 中京アカデミー開校
昭和 42 年 6 月 17 日	中京高等学校を中京商業高等学校に校名変更
昭和 43 年 4 月 1 日	中京商業高等学校に全日制課程体育科増設
昭和 45 年 4 月 1 日	中京短期大学 別科調理専修設置
昭和 48 年 4 月 1 日	中京短期大学保育科を中津川市千旦林 1-104 に移転
昭和 61 年 4 月 1 日	中京短期大学に経営学科を増設
平成元年 4 月 1 日	中京短期大学家政科を生活学科、家政専攻を生活文化専攻に 名称変更
平成 2 年 4 月 1 日	中京短期大学保育科を瑞浪校地へ、経営学科を中津川校地へ移転
平成 5 年 4 月 1 日	中京学院大学開学
平成 6 年 3 月 31 日	中京短期大学 経営学科廃止
平成 9 年 4 月 1 日	中京学院大学 編入学定員設置
平成 12 年 11 月 21 日	中京商業高等学校を中京高等学校に校名変更
平成 17 年 3 月 31 日	法人所在地を瑞浪市より中津川市に移転
平成 17 年 4 月 1 日	中京学院大学 別科日本語専修課程開設
平成 19 年 4 月 1 日	中京学院大学 経営学部中国ビジネス学科開設 中京短期大学 生活学科、生活文化専攻の募集停止
平成 20 年 4 月 1 日	中京短期大学 生活学科を健康栄養学科に名称変更
平成 21 年 4 月 1 日	中京学院大学 別科日本語専修課程の定員増
平成 22 年 3 月 31 日	中京学院大学 経営学部中国ビジネス学科の募集停止
平成 22 年 3 月 31 日	中京短期大学 別科調理専修募集停止
平成 22 年 4 月 1 日	中京学院大学 看護学部看護学科を瑞浪キャンパスに開設 中京短期大学を中京学院大学中京短期大学部に名称変更 中京学院大学中京短期大学部 健康栄養学科、保育科、 別科調理専修の定員減
平成 22 年 7 月 6 日	法人所在地を中津川市より瑞浪市に移転
平成 23 年 3 月 31 日	中京学院大学 経営学部中国ビジネス学科廃止 中京学院大学中京短期大学部 別科調理専修廃止 中京高等学校 全日制課程体育科廃止
平成 24 年 4 月 1 日	中京高等学校 通信制課程(広域)普通科を開設
平成 29 年 4 月 1 日	中京学院大学中京短期大学部を中京学院大学短期大学部に名称変更
平成 29 年 4 月 1 日	中京高等学校を中京学院大学附属中京高等学校に名称変更
令和元年 9 月 6 日	学校法人中京学院(設立準備室)設置認可
令和元年 9 月 20 日	学校法人中京学院 法人設立登記
令和 2 年 4 月 1 日	学校法人中京学院開設(中京学院大学・同短期大学部・中京幼稚園) 学校法人安達学園は高校単独法人へ 中京学院大学附属中京高等学校を中京高等学校に名称変更
令和 4 年 3 月 31 日	中京高等学校全日制商業科廃止
令和 5 年 4 月 1 日	通信制課程「Open Terrace 縁側」を開設
令和 6 年 4 月 1 日	「多治見ランチ(Open Terrace 縁側)・ゲートテラス探究」を開設

I-4. 設置する学校・学科等

設置学校名	学部・課程名	学科	開設年度
中京高等学校	全日制課程	普通科	昭和 38 年度
		商業科	昭和 38 年度
	通信制課程	(広域)普通科	平成 24 年度

I-5. 当該学校・学科等の入学定員、入学者数、学生数の状況

(2024 年 5 月 1 日現在)

設置学校名	学部・課程名	学科	入学定員	入学者数	定員	現員
中京高等学校	全日制課程	普通科	480	385	1,455 ※募集定員	1,182
	通信制課程	(広域)普通科	-	160	1,000 ※収容定員	677

I-6. 役員・教職員の概要

理事・監事

(2025 年 3 月末現在)

理事・監事の区分	氏名	常勤 非常勤 の区分	主たる職業	選任区分等	
				項又は 号	選任区分
理事 理事長	安達 弘城	常勤	学校法人安達学園理事長	2 号	評議員
理事	相川 長徳	常勤	中京高等学校校長	1 号	校長
理事	小栗 久美子	非常勤	(株)日吉ハイランド取締役	2 号	評議員
理事	加藤 璃帆子	非常勤	(株)メディアエイド勤務	2 号	評議員
理事	梅村 忠直	非常勤	梅村法律事務所所長・弁護士	3 号	学識経験者
理事	松下 邦雄	非常勤		3 号	学識経験者
監事	加藤 東衛	非常勤	三郷陶器(株)代表取締役会長	13 条	評議員会同意 理事長選任
監事	酒井 良郎	非常勤	(株)マルエス産業取締役会長	13 条	評議員会同意 理事長選任

評議員

(2025 年 3 月末現在)

氏名	主たる職業	選任区分		備考
		項又は号	選任区分	
安達 弘城	学校法人安達学園理事長	1 号	法人職員	兼理事
相川 長徳	中京高等学校校長	1 号	法人職員	兼理事
小栗 宗一	中京高等学校通信制課程副校長	1 号	法人職員	
度会 淳彦	中京高等学校全日制課程副校長	1 号	法人職員	

島氏 圭介	中京高等学校全日制課程校長代理	1号	法人職員	
名越 龍男	中京高等学校全日制課程副校長	1号	法人職員	
稲垣 克三	(株)丸三ポンプ工業所代表取締役	2号	卒業者	
安達 慶真	中京高等学校通信制課程入試部部长	2号	卒業者	
小栗 久美子	(株)日吉ハイランド取締役	2号	卒業者	兼理事
梅村 忠直	梅村法律事務所所長・弁護士	3号	功労者	兼理事
水野 光二	瑞浪市長	3号	功労者	
松下 邦雄		3号	功労者	兼理事
小川 祐輝	岐阜県議会議員	4号	学識経験者	
加藤 璃帆子	(株)メディアエイド勤務	4号	学識経験者	兼理事

教職員数

(2024年5月1日現在)

区分	中京高等学校		合計
	全日制課程	通信制課程	
教諭	53	6	59
養護教諭	1	0	1
常勤講師	9	0	9
非常勤教諭	36	9	45
事務職員	13	2	15
非常勤職員	10	1	11
合計	122	18	140

II. 事業の概要

II-1. 教育活動について

全日制課程では、2024年度よりクラス編成を大幅に刷新し、「学域・選抜」体制を導入しました。学びの領域を4つの学域(学問探究・語学力探究・運動技能探究・横断的学問探究)に設定し、さらに6つの選抜クラス(名大選抜・特進選抜・総合選抜・国際選抜・アスリート選抜・リベラルアーツ選抜)を設けることで、生徒が自身の関心に応じてクラスを選択できるよう特色化を図りました。地域連携教育においては、新たな取り組みを増やすことができました。通信制課程では、新たに多治見ブランチを開設したことにより、生徒一人ひとりに最適な学びの提供が可能となりました。具体的な取り組みは以下の通りです。

〈全日制課程〉

- ・特任講師(focus gold 著者竹内英人先生、ベストセラー作家後藤武士先生)による授業を展開。
- ・ハイレベルな塾講師による進学指導および大学生による放課後講習の展開。
- ・カナダ長期留学クラスに加え、フィリピンへの短期留学クラスの設置。
- ・運動部の競技力向上に特化したスポーツクラスの設置。
- ・リベラルアーツ選抜においてアラカルト方式の総合探究授業の実施。
- ・「ワイード」(電子黒板)、「ロイロノート」(教育ICTツール)の授業外での活用促進。
- ・「スタディサプリ到達度テスト」をCBTにて実施。「基礎力診断テスト」「実力診断テスト」を実施。
- ・瑞浪市役所「ミライ創るまい課」に53名が所属。特産品開発、各種イベントの企画・運営を実施。
- ・地域貢献活動の範囲を瑞浪市以外の土岐市、多治見市へ広げる。
- ・新規の取り組みとして、養蜂活動を開始。
- ・耕作放棄地をお花畑に変えるプロジェクトで「マイプロジェクトアワード岐阜大学賞」を受賞。

・美濃源氏七夕祭りへのボランティア参加で、市役所と商工会議所より感謝状を授与。

〈通信制課程〉

- ・「School DB」(新教務システム)を全ての連携教育施設(サポート校、面接指導施設)に配備。
- ・スモールクラスの運用開始。
- ・ヘルプステーションを2か所(瑞浪・多治見)で行い個別最適な学びを展開。
- ・進学実績 全日制課程、通信制課程ともに別紙参照。

Ⅱ-2. クラブ活動について

校技である硬式野球部は、夏の県選手権大会ベスト16、秋季大会県準優勝、東海大会ベスト8という結果で、甲子園出場はかないませんでした。しかしながら、他のクラブに目を向けると、2つのクラブが全国制覇を達成するなど、顕著な成績を収めた年度となりました。強化指定クラブ以外でも、チアリーダー部の全国大会出場や、男子バレーボール部が私学東海大会に出場するなどの成果が見られました。文化部においても、太鼓部が全国総合文化祭で演奏を披露したほか、吹奏楽部が地元で定期演奏会を開催するなど、新たな取り組みが見られました。詳細は下記のとおりです。

- ・軟式野球部・・・3年連続の全国優勝、全国最多優勝回数13回、国スポ優勝で2冠。
- ・弓道部・・・全国高校選抜大会優勝。
- ・ソフトテニス部、陸上部、ボクシング部、新体操部、スケート部・・・インターハイ出場。
- ・レスリング部の小川凜佳、小川璃苑・・・U20・U15 アジアレスリング選手権優勝。
- ・ウェイトリフティング部が新規発足。
- ・太鼓部が全国総合文化祭の東京公演オープニングで披露。

Ⅱ-3. 生徒募集について

全日制課程については、4年連続で定員割れが続いている状況への打開策として、地区別の個別相談会を前年度以上に開催しました。また、特色あるクラスの広報を目的とし、授業体験会や留学報告会などの新たな取り組みも実施しました。通信制課程については、生徒数は増加傾向にあるものの、目標の1000名達成に向けて、サポート校や面接指導施設の新規開拓を進めました。業務面では、全日制と通信制の募集活動の一元化を目指しましたが、完全な統合には至らなかったものの、一部業務の効率化は実現できました。具体的な取り組み内容は下記のとおりです。

- ・「個別相談会」を6月、11月に新規取り組みとして開催(多治見ランチの活用)。
- ・「個別相談会」を11月に土岐、恵那、中津川で新規取り組みとして開催。
- ・「名大・特進授業体験会」「総合・国際留学報告会」を新規取り組みとして開催。
- ・全日制課程、通信制課程合同で地域情報誌にチラシを掲載。
- ・関東、兵庫、高山などにサポート校や面接指導施設を開拓。
- ・多治見ランチの開設に伴い多治見地区の不登校生徒の居場所をつくる。

Ⅱ-4. 施設・設備について

今年度は、これまで整備が十分でなかった箇所を中心に環境整備を実施しました。まず、不要物の処分に着手し、年度末(3月)と年度当初(4月)に大規模な整理・処分を行いました。これにより、職員室を含む施設全体の環境を整えることができました。また、校舎外においても、手入れが行き届いていなかった樹木の伐採を行い、校舎内外の美化に努めました。その他、充実した教育環境を整備するための具体的な取り組みは下記のとおりです。

- ・個室型自習スペースを設置し、放課後生徒が自学できる環境を整備。
- ・卓球場にエアコンを配備し、授業および部活に集中できる環境を整備。
- ・北2号館2階のトイレを改修し、洋式トイレを整備(学校特色化支援事業補助金)。
- ・校内および総合グラウンド周辺の樹木の伐採を行い、安全性を確保。
- ・全教室にクリーンロッカーを設置し、整理整頓を含め環境美化を推進。
- ・「多治見ランチ」新設工事完了。
- ・「体育館」改修工事完了。

Ⅲ. 財務の概要

Ⅲ-1. 資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部			
科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	893,687	878,372	15,314
手数料収入	20,520	19,202	1,317
寄付金収入	23,300	14,778	8,521
補助金収入	490,500	509,928	△ 19,428
資産売却収入	0	301,500	△ 301,500
付随事業・収益事業収入	78,000	82,670	△ 4,670
受取利息・配当金収入	150	549	△ 399
雑収入	48,600	63,263	△ 14,663
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	44,025	36,525	7,500
その他の収入	112,855	155,119	△ 42,263
資金収入調整勘定	△ 95,404	△ 105,407	10,002
前年度繰越支払資金	865,623	993,042	
収入の部合計	2,481,857	2,949,545	△ 467,687
科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	784,230	767,975	16,254
教育研究経費支出	442,225	438,856	3,368
管理経費支出	251,795	248,602	3,192
借入金等利息支出	1,150	877	272
借入金等返済支出	20,004	21,671	△ 1,667
施設関係支出	50,200	34,681	15,518
設備関係支出	9,189	18,228	△ 9,038
資産運用支出	2,161	497	1,663
その他の支出	37,074	73,011	△ 35,937
資金支出調整勘定	△ 10,774	△ 64,308	53,534
翌年度繰越支払資金	894,602	1,409,451	△ 514,849
支出の部合計	2,481,857	2,949,545	△ 467,687

Ⅲ-2. 事業活動収支計算書

(単位 千円)

科目		予算額	決算額	差異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	893,687	878,372	15,314
	手数料	20,520	19,202	1,317
	寄付金	23,300	14,778	8,521
	経常費等補助金	490,500	509,928	△ 19,428
	(国庫補助金)	8,000	5,106	2,894
	(地方公共団体補助金)	482,500	504,822	△ 22,322
	付随事業収入	78,000	82,670	△ 4,670
	雑収入	48,600	63,263	△ 14,663
	教育活動収入計	1,554,607	1,568,215	△ 13,608

	事業活動支出の部			
	人件費	784,230	769,754	14,475
	教育研究経費	538,575	531,448	7,126
	管理経費	276,025	285,437	△ 9,412
	徴収不能額等	700	0	700
	教育活動支出計	1,599,530	1,586,640	12,889
	教育活動収支差額	△ 44,923	△ 18,424	△ 26,498
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	150	549	△ 399
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	150	549	△ 399
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	1,150	877	272
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	1,150	877	272
	教育活動外支出差額	△ 1,000	△ 327	△ 672
	経常収支差額	△ 45,923	△ 18,752	△ 27,171
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	198,900	△ 198,900
	その他の特別収入	0	738	△ 738
	特別収入計	0	199,638	△ 199,638
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	10	1,776	△ 1,766
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	10	1,776	△ 1,766
	特別収支差額	△ 10	197,861	△ 197,871
	[予備費]	0		0
基本金組入前当年度収支差額	△ 45,933	△ 179,109	△ 225,042	
基本金組入額合計	0	△ 77,947	77,947	
当年度収支差額	△ 45,933	101,161	△ 147,095	
前年度繰越収支差額	△ 1,718,156	△ 1,305,848	△ 412,308	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 1,764,089	△ 1,204,686	△ 559,403	
(参考)				
事業活動収入計	1,554,757	1,768,403	△ 213,646	
事業活動支出計	1,600,690	1,589,294		11,396

Ⅲ-3. 貸借対照表

(単位 千円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	2,140,659	2,321,157	△	180,498
有形固定資産	2,125,509	2,203,047	△	77,538
土地	908,573	908,573		0
建物	1,060,959	1,108,902	△	47,943
その他有形固定資産	155,976	185,571	△	29,595
特定資産	0	0		0
その他の固定資産	15,149	118,110	△	102,960
流動資産	1,499,948	1,119,588		380,360
現金預金	1,409,451	993,042		416,409
その他流動資産	90,497	126,545	△	36,048
資産の部合計	3,640,608	3,440,746		199,861
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	105,177	126,987	△	21,809
長期借入金	94,979	114,983	△	20,004
その他固定負債	10,198	12,004	△	1,805
流動負債	164,784	122,222		42,562
短期借入金	20,004	21,671	△	1,667
その他流動負債	144,780	100,551		44,229
負債の部合計	269,962	249,210		20,752
純資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
基本金	4,575,331	4,497,384		77,947
第1号基本金	4,467,331	4,389,384		77,947
第4号基本金	108,000	108,000		0
繰越収支差額	△ 1,204,686	△ 1,305,848		101,161
純資産の部合計	3,370,645	3,191,536		179,109
負債及び純資産の部合計	3,640,608	3,440,746		199,861

以上